



Title	律令国家都鄙間交通の研究
Author(s)	市, 大樹
Citation	大阪大学, 2001, 博士論文
Version Type	
URL	https://hdl.handle.net/11094/42216
rights	
Note	著者からインターネット公開の許諾が得られていないため、論文の要旨のみを公開しています。全文のご利用をご希望の場合は、 〈a href="https://www.library.osaka-u.ac.jp/thesis/#closed"〉 大阪大学の博士論文について 〈/a〉 をご参照ください。

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

氏名	市 大 樹
博士の専攻分野の名称	博士(文学)
学位記番号	第 15906 号
学位授与年月日	平成13年3月23日
学位授与の要件	学位規則第4条第1項該当 文学研究科史学専攻
学位論文名	律令国家都鄙間交通の研究
論文審査委員	(主査) 教授 梅村 喬 (副査) 教授 村田 修三 教授 平 雅行

論文内容の要旨

本論文は、日本古代の律令制下における地方支配政策を交通の視点から追究し、支配構造の特質を明らかにしようとしたものである。近年盛んになっている古代交通史の現段階の水準をよく理解し、いままで専門誌に発表した論文を大幅に補訂・改稿し、再構成の工夫を加え、また新稿を付して、全体としての体系化を目指すなど、途上のものとはいえ大きな構想の上に叙述されたものである。(全346頁、1頁969字、400字詰原稿用紙838枚)

論述は、実証を旨として、まず律令条文や格式などの根拠法令を考察した上で、実際の運用という側面から交通をめぐる社会動向を念頭において、新出の史料にも目配りする幅広い視点で叙述されている。ただ、章によって、やや完成の程度差があること、交通というものの政治史的観点が強く出過ぎていると感ぜられる面もなくはないが、総じて、今後の研究によって克服が可能な点と考えられる。

序章の「課題設定」は、「人・モノ・情報」の移動現象を政治的契機から考察する意図を述べていて、明瞭な目的と研究史上の位置づけを明示するものとなっている。

第1章「伊勢国計会帳から見た律令国家の交通体系」は、現存の「伊勢国計会帳」を素材として、天平年間の上申・下達文書の伝達方式(諸国逕送)を考察したものである。

第2章「国司制の成立と伝馬制」は、国司制度の成立過程を交通の観点から跡付けようとしたもので、あまり評価されなかった伝馬制の歴史的意味を確かめたものである。

第3章「国司任符の研究」は、国司の任命時に現地に持参することが義務づけられた任符という太政官符の基礎的研究であり、任符の太政官内部での発給手続き、「免本任放還宣旨」の意味、赴任時の機能、任符の起源などについて詳述したものである。

第4章「朝使派遣と国司」は、7、8世紀の中央派遣の使者を「朝使」と把握した上で、広くその事例を集めたもの。中央と地方との具体的な政治関係を素描しようとしたものである。

第5章「畿内地域の富豪層と院宮王臣家・諸司」は、9世紀を対象に古代の過渡期の政治問題を私的権力の公権への介入として理解し、富豪層と院宮王臣家・諸司との「私的結合」の掘り下げ、畿内の地域的特質を明らかにしようとしている。

論文審査の結果の要旨

本論文は、古代史学の現状をよく整理した上で、幅ひろく交通に関わる基本史料を網羅して、検討を加えた点に特徴があり、堅実な実証と大きな構想力がよく結び付いたところで表わされた好論といえる。

その独創的な点として、何より中央と地方との政治関係を「交通」という視角から捉えて、官司内部の組織を解明したこと。また、古代に展開する高度な文書行政のなかで、それらを結合する公文書一任符や計会帳の基礎的検討を進めたこと。また、従来十分取り上げられなかった伝馬制の意義に注目したことなどが挙げられる。とくに、第1章と第3章は学界にも大きな刺激を与える優れた論文であり、交通に新たな意義を付与したとあって過言ではない。

ただ一方で、論文全体になお理論的な整理が十分でないこと、一部の箇所やや証明の不足や説明の晦渋さが見受けられることも指摘しなくてはならない。しかし、全体を通じて、意欲的な構想のもとに新しい課題に取り組み、少なくない成果を挙げており、現在の独立行政法人奈良文化財研究所の所員としての仕事とあいまって将来に大きな成果が期待できるものとなっている。

これらの諸点を十分考慮した上で、本審査委員会は、本論文を博士（文学）の学位に授与するにふさわしいものとして認定する。